

2013.11.01.
NO.10 図書館九条の会十周年記念号
図書館九条の会



発行・「図書館九条の会」事務局

第10回学習会

2013 03.10

「憲法を実現する政治への転換を」

全国九条の会事務局長 小森陽一氏

【講師・小森陽一氏の講演内容を
大澤正雄さんが要約したものです】

今日は「憲法を実現する政治への転換を」ということでお話をいたします。

まず、5年間、つまり2007年におなが痛くて総理大臣をやめて5年間、間が空いたにもかかわらず、政治の世界では、第2次安倍晋三政権と名付けるんだということに当初は非常に強く違和感を抱いていたのです。

実は、第2次安倍政権といったとき、その間の1年交替でかわった自公政権、福田康夫、麻生太郎政権そうして、その後2009年の政権交代選挙があるわけですけど、こうした、日本の2007年から2012年年末までの政治状況が一切存在しなかったというふうに考えてみると、第2次安倍政権といういい方も慎重になってくるのではないかと思います。

1. 「民意」をゆがめる小選挙区制の帰結としての衆院選結果

① 選挙公約を破った民主党への厳しい審判——230議席から57議席へ

それはどうことかという、第1次安倍政権において憲法改悪に必要な手続きの法律に関してはすべて通されてしまっています。第1次安倍政権は自らの任期中に憲法を変えるとあって、それを公約に掲げて誕生したわけですから、まさにその公約を実現するために5年間の空白を突き破って出てきたのだというふうに捉え直す必要があると思います。

しかし、国民の側では安倍総裁をいただいた自民党を特に強く支持しようとする動きがあったということではないんです。今回の12月16日の総選挙の結果というは、2009年の総選挙のマニフェストを全て裏切った民主党政権に対するきびしい審判であったという点では有権者の政治認識を反映していると思います。

230議席から57議席に転落したわけですから。

② 政権を失った選挙より219万票減で「圧勝」した自民(小選挙区24%、比例代表15%で294議席)

けれど、小選挙区制という選挙制度のからくりによって、政権を民主党に奪われた2009年の総選挙よりも219万票減らしたにもかかわらず、自民党が圧勝したということです。

自民党の得票率は前回から大幅に減って小選挙区が24%、比例区で15%です。この事実を大手のマスコミ

目次

- ① 第9回学習会
憲法を実現する政治への転換を
講師・全国九条の会事務局長 小森陽一
- ⑬ 沖縄の図書館と「図書館の自由」 山口真也
- ⑳ 会員交流～北から南から～
- ㉒ ピースボード乗船記 赤尾幸子
- ㉓ 2012年度決算報告・2013年度予算
- ㉔ 2013年度活動報告・2014年度活動予定
第10回図書館九条の会学習会予告